

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第4表 2004年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第2地点	鶴ヶ岡5-196,197の一部	5,000	老人介護施設	2004.12.20~2005.2.2	2005.3.14~	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡遺跡第3地点	鶴ヶ岡3丁目	2,059	個人住宅	2005.1.7		試掘調査
3	江川東遺跡第8地点	東久保1丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.8		試掘調査
4	江川東遺跡第9地点	東久保1-6-19	464	保育園	2004.4.9~4.19	2004.5.10~5.25	試掘調査
5	東久保遺跡第58地点	ふじみ野2-27-2	558	分譲住宅	2004.4.13~4.14		試掘調査
6	東久保遺跡第59地点	ふじみ野2-25-7、8、9	1,804	店舗	2004.6.29	2004.7.14~7.23	試掘後、調査会で本調査
7	東久保遺跡第60地点	ふじみ野2-26-16	337	個人住宅	2004.7.22~7.24		試掘調査
8	東久保遺跡第62地点	ふじみ野2-25-16	220	個人住宅	2004.10.12~10.15		試掘調査
9	亀久保堀跡遺跡第30地点	ふじみ野2-25-1	659	店舗	2005.1.11~1.12	2005.1.31~2.7	試掘後、調査会で本調査
10	東久保南遺跡第33地点	ふじみ野4-9-2	354	店舗	2004.7.8~7.9		試掘調査
11	東久保南遺跡第34地点	ふじみ野4-9-2	555	店舗付共同住宅	2004.7.8~7.12		試掘調査
12	東久保南遺跡第35地点	ふじみ野1-5-8	194	個人住宅	2005.1.17		試掘調査
13	東久保南遺跡第36地点	ふじみ野4-8-7	1,005	事務所	2005.1.21~1.27	2005.2.7~2.15	試掘後、調査会で本調査
14	東久保南遺跡第37地点	ふじみ野4-10-1	695	駐車場	2005.2.10~2.14		試掘調査
15	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-4	222	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
16	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-19	105	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
17	西ノ原遺跡第128地点	旭1-16-9、10	614	店舗	2004.6.14~7.15	2004.7.16~9.29	試掘調査
18	西ノ原遺跡第129地点	旭1-11-5	235	共同住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
19	西ノ原遺跡第130地点	旭1-5-8	116	個人住宅	2004.10.14~10.15		試掘調査
20	西ノ原遺跡第131地点	旭1-5-13	97	店舗付個人住宅	2004.10.22		試掘調査
21	中沢前遺跡第25地点	苗間1-10-8	809	共同住宅	2004.6.4~6.10		試掘調査
22	神明後遺跡第23地点	苗間253	62	個人住宅	2004.4.9		試掘調査
23	神明後遺跡第24地点	苗間神明後293-4,10	148	個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
24	神明後遺跡第25地点	苗間295-1	660	店舗付個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
25	浄禅寺遺跡第24地点	苗間字神明後346-1、2の一部	391	個人住宅	2004.8.30~8.31		試掘調査
26	浄禅寺遺跡第25地点	苗間339-1,2	721	共同住宅	2004.9.22~10.12		試掘調査
27	浄禅寺遺跡第26地点	苗間字神明後354の2の一部	216	分譲住宅	2005.3.3~3.8		試掘調査
28	苗間東久保遺跡第23地点	苗間字東久保640-9	104	個人住宅	2004.9.1		試掘調査
29	小田久保遺跡第6地点	大井小田久保1207-5	306	個人住宅		2004.10.26~11.13	教育委員会で本調査
30	大井宿遺跡第8地点	大井1-6-7	282	個人住宅	2004.4.20		試掘調査
31	大井宿遺跡第10地点	大井1-3-16	341	分譲住宅	2004.9.21~10.6		試掘調査
32	大井宿遺跡第11地点	大井1丁目5番5,11	970	共同住宅	2004.12.10~12.20	2005.1.6~1.29	試掘後、調査会で本調査
33	本村遺跡第112地点	市沢1-17-16	289	共同住宅	2004.7.27		試掘調査
34	大井戸上遺跡第4地点	大井字東台689-3	128	個人住宅	2004.5.27		試掘調査
35	西台遺跡第5地点	大井字西台911-51	139	個人住宅	2004.6.17		試掘調査
36	東台遺跡第41地点	大井字東台648-4	182	個人住宅	2004.5.11~5.14		試掘調査
37	東台遺跡第42地点	大井640-4	515	教会増築	2004.9.7~9.17		試掘調査
38	東台遺跡第43地点	大井東台661-6	964	駐車場	2005.1.13		試掘調査
面積合計			28,657				

XII 東久保南遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

東久保南遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐさかい川の谷頭部から、約400～500m程下った左岸に位置している。標高19～21mで現谷底との比高差は1m以下ではほぼ平坦である。現在は盛土されているが、東端には大雨の時に冠水して池になる窪地がみられた。さかい川は富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源をもつ伏流水で現在は下水路となっている。なお、富士見市にも遺跡範囲は広がっており、同じ東久保南遺跡で登録され、同遺跡と接して「オトウカヤマ」と呼ばれる塚があり、1982年と1999年に富士見市教育委員会により試掘調査が実施されている。

周辺の遺跡はさかい川の対岸に縄文時代中期の大規模集落である西ノ原遺跡、さかい川下流には縄文時代中期後半の集落である中沢遺跡がある。

1981年以来2005年3月現在37ヶ所で調査が行なわれ遺跡全体の90%を調査し、縄文時代中期の住居跡2軒、奈良・平安時代の住居跡4軒（1軒は富士見市内）、縄文時代の落とし穴・土坑・炉穴や時期不明の溝跡が確認されている。遺跡の現況は区画整理事業がほぼ完了し、町内でも開発が最も活発な地域である。

2 東久保南遺跡第27地点

（1）調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2002年5月10日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東側に位置しているため原因者と協議の結果、遺跡範囲と遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2002年5月29日から同年6月7日まで行なった。幅約2mのトレンチを7本設定し、重機により表土除去し、人力で表面精査したところ、溝跡とピットを検出した。確認面まで30cmを測る。検出遺構を調査し写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

（2）遺構

【溝】調査区の北西隅に位置し、南北方向に向かう。

検出部分の幅は70cm、深さ21cmである。

【ピット】出土遺物ないが時期は縄文時代。

第13表 東久保南遺跡第27地点ピット一覧表（単位cm）

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	楕円形	30 × 24	17 × 10	9	
2	楕円形	27 × 23	8 × 7	13	
3	楕円形	60 × 34	20 × 10	54	斜向
4	楕円形	30 × 24	8 × 6	9	
5	楕円形	60 × 42	44 × 25	10	
6	楕円形	38 × 30	22 × 16	18	
7	楕円形	25 × 20	18 × 10	20	



第36図 東久保南遺跡の地形と調査区（1/4,000）

幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで30cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

6 東久保南遺跡第31点

(1) 調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より2003年8月12日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西側に位置し、隣接する第22地点では縄文時代の炉穴等を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年8月21日から同年9月1日まで行なった。幅約2mのトレンチを12本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、炉穴、溝等を検出したため、原因者と再度協議を行なった結果、原因者負担による本調査を実施することになった。

本調査は2003年9月5日から同年10月5日まで、大井町遺跡調査会が行ない、縄文時代早期の炉穴32基、土坑・ピット、溝を検出した。「東久保の遺跡」大井町遺跡調査会2005既刊行)

7 東久保南遺跡第32地点

(1) 調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より2004年1月14日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年1月26日から同年1月29日まで行なった。幅約2mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで60cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

8 東久保南遺跡第33地点

(1) 調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より2004年7月1日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年7月8日から翌9日に行なった。幅約2mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力で表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで60cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

9 東久保南遺跡第34地点

(1) 調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より2004年6月15日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年7月8日から同年7月12日まで行なった。幅約2mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで60cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

10 東久保南遺跡第35地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年12月27日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2005年1月17日に行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで30cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

11 東久保南遺跡第36点

(1) 調査の概要

調査は事務所建設に伴うもので、原因者より2004年12月20日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2005年1月21日から同年1月27日まで行なった。幅約2mのトレンチを5本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、落とし穴、溝等を検出したため、再度協議を行ない、原因者負担による本調査を実施することになった。

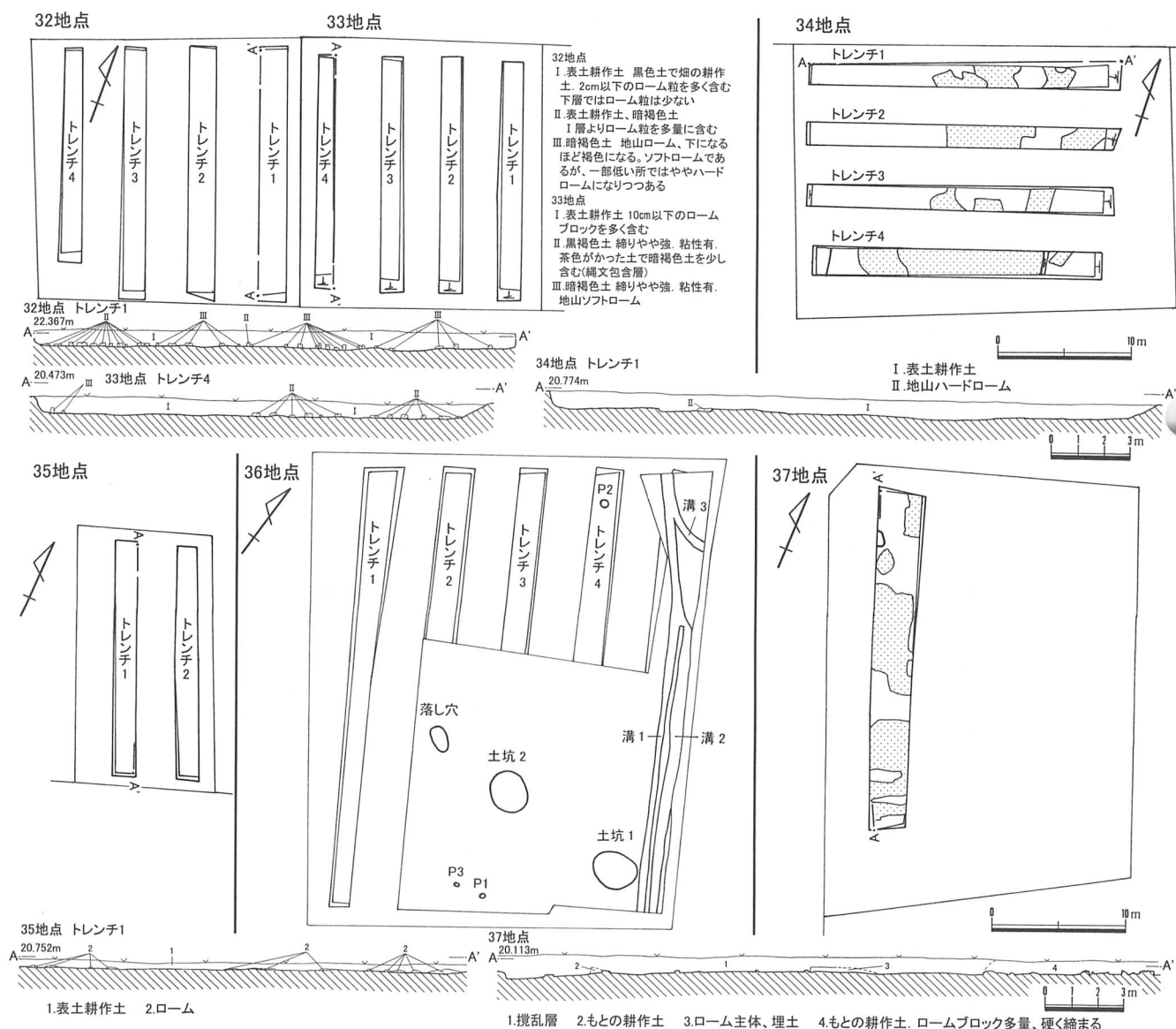
本調査は2005年2月2日から同年2月15日まで、大井町遺跡調査会が行ない、縄文時代の落とし穴1基、土坑2基、溝を検出した。「東久保の遺跡」大井町遺跡調査会2005既刊行)

12 東久保南遺跡第37地点

(1) 調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より2005年1月27日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2005年2月10日から同年2月14日まで行なった。幅約3mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで50~80cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第39図 東久保南遺跡第32・33・34・35・36・37地点遺構配置図 (1/500)、土層図 (1/250)



東久保南遺跡第31地点試掘調査



東久保南遺跡第32地点試掘調査溝



東久保南遺跡第33地点試掘調査



東久保南遺跡第34地点試掘調査溝



東久保南遺跡第35地点 A 区本調査



東久保南遺跡第36地点 B 区試掘調査土坑



東久保南遺跡第36地点 B 区試掘調査溝



東久保南遺跡第37地点試掘調査